

おむすび

やまがたの仕事と芸工大生をむすぶ

第一号

先輩の会社を訪ねて「山形新聞社」へ。



TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

東北芸術工科大学 後援会

創刊140周年を迎える山形新聞

新しい情報をお届け続ける現場に、

先輩たちを訪ねました。

山形新聞は東北芸術工科大学（以下、芸工大）で企画しているイベントや活動を取材し掲載していただいており、いつも近くで見守って応援してもらっている気がします。

今回は立場が逆転し、プロへの取材に緊張しながらも、芸工大と山形の企業を結ぶという

本誌のコンセプトにぴったりのお話を聞くことができました。



山形新聞社
〒990-8550 山形県山形市旅籠町2-5-12 山形メディアタワー
TEL: 023-622-5271(代表) URL: <http://yamagata-npjp>



②

芸工大から整理記者という仕事をへ

O G
中原 三奈さん
(2004年度)
未来デザイン学系情報計画コース卒業

幼いころから本を読むことが好きで、将来は文字や言葉に関わる仕事がしたいという夢があつた中原さん。芸工大の情報デザイン学科卒業後はその夢を山形新聞社の整理記者という仕事で実現しています。そもそも整理記者とは…?

「新聞のどこにどのような記事を載せるか判断し、見出しやレイアウトを考え、紙面に組んで新聞を形にしていくのが仕事です」。

やりがいは何かと尋ねると「当たり前のことですが、世界が動いているのを感じます。昼夜を問わず、事件や事故はあらゆる場所で起きています。さまざまなニュース

が締め切りギリギリに飛び込んでくることもあり、ほぼ出来上がっていたものを壊して、新たに組み替えるという時

がよくあります。常に時間との闘いですが、無事完成した時は達成感を感じます」。

在学中は『やまがた宝さがし』



③

いろいろな人や企業と関わった4年間

「大学は自由な雰囲気で、あまり垣根がない。不真面目そうに見えても、素晴らしい作品を作ったり、豊かな発想を持っていたり。いろんな人がそれぞれの個性を出しながら、一つの料理のように社会を作り、生きているんだということを実感できた場所でした。その経験は社会に出て、多くの方たちと接する中でとても役立っています」。

演習では企業と密に関わってブランディングをする機会も恵まれたそうです。「新しい何かを生み出すにしても、その背景にある社員の方の企業への思いや、愛情を理解しないといけないことを学びました。

こうした機会があるのも芸工大の魅力であり特長だと思います」。

最後に、後輩へメッセージをいただきました。「将来を考えるとき、新聞社での仕事も視野に入れてみてください。紙面を広げれば、社会情勢に政治や文化、スポーツといったあらゆる情報を毎日、一度知ることができます。新聞を世の中に発行していく」とも、ものづくりの一つだと思っています」。

学級新聞を作るのが好きだった少年

**O B
伊藤 大さん**
デザイナー
(2001年度 情報デザイン学科映像コース卒業)

ホーム開幕戦当日の新聞を選手のイラストで包んでしまうという斬新な企画です。「反響も大きくてSNSなどでも話題にしていただきました。今季はさらにインパクトのあるものを作りたいです」。



教授や他学科の友人からの刺激

中学生の頃から芸工大に憧れていた伊藤さんは、情報デザイン学科CGコース（映像学科の前身）に入学。卒業後、山形新聞社の広告局CGデザイン室でデザイナーとして活躍しています。

「中学時代に、学級新聞づくりを通して、デザインに興味を持ち始めました。大学入学後、若者に新聞を読んでもらうためのポスターコンペに応募し、最優秀賞をいただきました。それが新聞社で働くことを意識したきっかけですね」。新聞社に入社する流れは昔から決まっていた運命のようを感じます。

仕事内容は毎日掲載される大小さまざまな新聞広告の制作。ディレクションからデザインまで、一連の作業を一人でこなしています。キャラクターコピーも考えるし、時には撮影まで担当することもあるのだとか！「お客様が持っているイメージを理解して具現化していくきます。自分の提案した原稿が採用になった時が一番嬉しいですね！」。

山形で仕事をする魅力を聞いてみると、「ひとりのデザイナーがお客様と直接話し、最初から最後まで一貫して制作に携わるのは、首都圏ではなかなかできないことだと思います」ということでした。昨年手がけた仕事で思い出深いのがモンティオ山形の新聞広告。



社長 寒河江三吉二
代表取締役社長

芸工大と地域の関わり

新聞を読む芸術大学へ

ので、芸術大学で学んできたことがよく活かされていると思います。各分野の仕事で必要とされることに応えられる力が芸工大生の特徴なのでしょうね」。

「芸工大は、地域に溶け込みながら住民と一緒に活動し、地域活性化や産業振興に関わっているという記事を紙面でもよく見かけます。肘折温泉の『ひじおりの灯(※)』も長く続けてこられて、温泉街も活性化してきましたように感じます」。そう話してくださいるのは、山形新聞社の寒河江社長。新聞を通して常に地域を見つめているからこそ、言葉のひとつひとつに重みがあります。

「芸術大学では全国でもトップレベルだと思います。さまざまな分野でアイデアを出し合い、発展させながら山形をさらに活性化していただきたいです」。



社長には芸工大生に伝えたい想いがありました。それは、「新聞を読んでもらいたい」ということ。新聞はランチと同じだといいます。「毎日栄養の計算されているランチを食べていれば病気もしない。新聞も総合的にバランスがとれた食事と同じです。紙面の中にはいろいろな記事が散りばめられていて、社会の動きを知り、社会人として最低限の情報を得ることができる」。

「新聞を読むと想像力や読み解力が高まる」。

現在、山形新聞社には多数の卒業生が勤務しています。「それぞれの力を活かしながら活躍してくれています。例えば整理記者はニュースバリューを判断し、見出しをつけてレイアウトすることが仕事です。うまく組み合わせて構成するセンスが必要です

※毎年7月下旬から9月上旬に開催している、肘折温泉街を芸工大生が描いた絵燈籠で盛り上がるイベント。今年で10回目の開催となる。

芸工大は普通の芸大とは少し違います

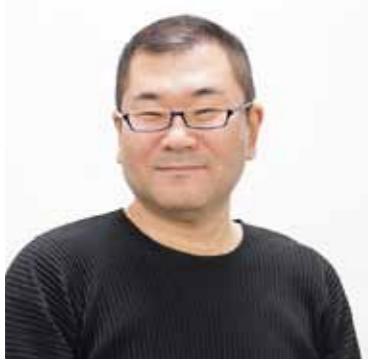
企画構想学科准教授
片岡英彦

芸大と聞くと「絵を描く」「モノを創る」というイメージがありますが、芸工大では単に「アート」と「デザイン」だけではなく、「社会に貢献できる」という視点を取り入れています。例えば企画構想学科は、「コトづくり」「幸せデザイン」といった日本で唯一の「企画」を実践的に学ぶ学科です。マーケティングやブランディング、商品開発、イベントの企画運営、PR等、企業との連携を通じて、社会に出て役に立つ実践的な学びを行っています。

また、芸工大は「普通であることを嫌がる」学生が多く、素直でりながらも、人に流されることはありません。生まれも育ちも違う仲間と出会い、お互いを知っていく中で、互いの「個性」を知り、尊重しつつ、自らの「個性」を社会に役立たせる方法を思案し続けています。効率性や機能性ばかりが重視される時代を経て、次なる「幸せのカギ」が自分たちの手にあることを知っているかのようです。

芸工大生を地域(山形)はどう活かす?

地域には、都心のような利便性はありません。しかし、都心には地域の魅力がない。では地域の魅力とは? それを一人一人が自らの頭



片岡英彦(企画構想学科准教授/広報部長)
日本テレビで報道記者、宣伝プロデューサーとして勤務。後にApple、MTV、マクドナルド、mixiの広報・宣伝・プロモーション責任者等を務め、2011年「片岡英彦事務所」を設立。これまで、Adobeの学生向けSNS施策の立案、日本テレビグループのLINE VIDEO社の広報プロデューサー、iPhone5(a)戦略PRプロデューサー等を務める。

産学連携

「日本酒ブランディング『天弓』」

東の麓酒造有限公司（南陽市）と企画構想学科、グラフィックデザイン学科の学生チームで日本酒の共同開発を行い、新ブランド『天弓』が誕生。コンセプトからネーミング、ラベルデザインまでトータルでプロデュースしています。



レポーター
小笠原 裕一
(企画構想学科4年)

「山形のことや芸工大のことを聞けるチャンスだ!」と取材前日まで楽しみにしていました。そして当日、山形新聞社の雰囲気に圧倒され緊張しました。しかし、寒河江社長や卒業生の先輩方がフォローを入れてくれたり、滞りなくインタビューをすることができました。今回いただいたお話を忘れることがなく、残りの大学生活動を過ごしたいと思います。

キャリアセンター



● 東北芸術工科大学合同企業説明会
学生の企業理解、業界研究をより一層推進するため、合同企業説明会を開催いたします。多くの参加申し込みをお待ちしております。

開催日：平成28年5月21日（土）
時間：14時～17時30分
会場：東北芸術工科大学

申込方法：本学ホームページ内「企業採用担当の方へ」より、参加申込書をダウロードいただき、3月31日までにメール添付（career@agatuad.ac.jp）件名に『合同企業説明会』と記入の上、送付ください）にてお申込みいただきますようお願い申し上げます。申込多数の場合は抽選をさせていただきます。

【お問い合わせ】

東北芸術工科大学キャリアセンター
TEL：023-627-2194
FAX：023-627-2358
E-mail：career@agatuad.ac.jp

様々な仕事の第一線で活躍する卒業生らを講師に招いて「自分の働き方を自分でつくる」方法を教えたり、「芸術を社会でどう活かすか」を例示するなど、本学で学んだあとの生き方を導き、支えています。

企業様からの求人情報やご相談も隨時お受けしておりますので、お気軽にお問い合わせください。

おむすび

「芸工大生って絵しか描かないのは?」と何を学んでいるかなか理解していただく機会がありません。そこで企業と芸工大を結びつけ山形と一緒に作っていくたいという想いを込めて発刊されたのが、この「おむすび」です。

後援会会員

AGC ガラスプロダクツ株式会社 / NTT タウンページ株式会社
社東北営業本部 / TOT 株式会社 東北支社 / 株式会社ア・ファクトリー / 有限会社アートエッダ / 株式会社赤湯観光バス / 株式会社曙印刷 / 税理士法人あさひ会計 / 羽陽建設株式会社 / うるしやまタクシ株式会社 / 株式会社ア・アンドシー / 遠藤商事株式会社 / 株式会社オーライン / 株式会社大風印刷 / 株式会社山形県王ザブライズ / 株式会社ジヨンゼンセイ / 株式会社庄内銀ボーフ / 株式会社上山温泉ホテルあづま屋 / 株式会社杵屋本店 / 株式会社きやらか銀行 / 株式会社きんでん東北支社 / 黒澤建設工業株式会社 / 株式会社建設テクノ / 株式会社彩画堂 / 株式会社山形県王ザブライズ / 株式会社蔵王ミート / 酒遊園 / 株式会社シバール / 株式会社ジヨンゼンセイ / 株式会社庄内銀銀行 / 進和マル印刷株式会社 / 医療法人社団須田医院 / 株式会社須藤電機 / セコム株式会社山形統轄支社 / 株式会社ドロン東北 / 全国農業協同組合連合会 / 山形県本部 / 株式会社ダイペー・シティメディア / 宝成成機器株式会社 / 株式会社田中工務店 / 田宮印刷株式会社 / 株式会社丹野こんにゃく / 株式会社千歳建設 / 千歳不動産株式会社 / 株式会社塙田会計事務所 / 株式会社つたや / 株式会社テトラス / 株式会社大童木工 / 株式会社東京コンクリート工業株式会社 / 東武トップアーツ株式会社 / 東北電化総合会社 / 東北山形支店 / 有限会社東北環境総合サービス株式会社 / 東北バイオニア株式会社 / ドーム工業株式会社 / 信電電話株式会社 / 山形支店 / 藤庄印刷株式会社 / 富士ゼロックス株式会社 / みひろ / 株式会社トヨタレンタリース山形 / 株式会社ナイガイ / 内外緑化株式会社 / 株式会社にしむら / 株式会社旅館古窓 / 有限会社ネットワークの里 / 株式会社ハイスクフ / 株式会社羽田設計事務所 / 株式会社八文字屋 / 東日本電信電話株式会社 / 東北バイオニア株式会社 / ドーム工業株式会社 / 信電電話株式会社 / 富士ゼロックス山形支店 / 布施弥七京染店 / 株式会社ホテルメイシア / 株式会社山形環境荒正 / 株式会社善株式会社仙台支店 / ミクロソフトワークの里 / 株式会社山形ヨンドホテル / 株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター / 山形建設株式会社 / 山形県民共済生活協同組合 / 株式会社カキヰ山形国際ホテル / 山形ガス株式会社 / 株式会社山形アドビューロ / 山形ガス株式会社 / 株式会社山形環境荒正 / 株式会社山形銀行 / 山形空港ビル株式会社 / 株式会社山形ヨンドホテル / 株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター / 山形協同組合 / 山形バナナワックス株式会社 / 山形食品株式会社 / キヤ山形国際新幹線 / 山形バナナワックス株式会社 / 山形ビール商社 / 山形ビールサービス / 山形放送株式会社 / 株式会社ヤマコ / 山形新報株式会社 / 株式会社山新広告社 / 株式会社山本組 / 悅湯の郷 ゆさ / 株式会社吉田段ボール / 惠美画廊 / リコージャパン株式会社 / 東北営業本部山形支社 / リスロム株式会社 / 両羽協和株式会社 / 菊機工業株式会社 / 仙台支店 / 有限会社レンタルプラザ / 渡辺包装株式会社